

指定管理者管理運営状況評価書

評価対象施設	埼玉スタジアム2002公園
指定管理者	埼玉スタジアム2002公園マネジメントネットワーク 代表 公益財団法人埼玉県公園緑地協会
評価対象年度	令和5年度
施設所管課所	大宮公園事務所

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の平等な都市公園の利用の確保	平等利用の確保	A	・条例に基づき定めた供用日、供用時間どおり実施している。 ・休園日、利用時間、利用料金を、管理事務所入口、クラブハウスに掲示、また、利用料金の一部を除きホームページに掲載している。
	利用料金の適切・公平な徴収	A	・適正な料金徴収を行うとともに、利用料金の減免をも適切に行っている。
	苦情・要望等への適切な対応	A	・ツアーの参加者にアンケートを行いニーズの把握に努めた。 ・浦和レッズ、埼玉県サッカー協会、日本サッカー協会とも苦情・要望等の情報を共有している。
関係する法令等を遵守した適正な都市公園の運営	法令等の遵守	A	・注意看板を必要に応じ追加設置し、巡回時に利用者へ声掛けをするなど安全確保に努めた。 ・防犯カメラで異常がないか24時間体制で確認している。 ・審査基準に従い、各施設の利用許可等を適切に行った。
	適切な各種手続き	A	・基本協定に基づき修繕や委託業務の承認申請等を適切に行った。 ・建物内は原則禁煙とし、試合開催時も指定場所での喫煙を主催者を通じて徹底した。
都市公園の設置目的を効果的に達成した効率的運営	管理目標の達成	B	・4項目中3項目について達成しており、有料施設利用人数についても、前年度の80.2万人から前年比129%の大幅増となった。
	事業の実施	A	・JV各構成団体が連携し、Jリーグ浦和レッズ戦を計15試合、ACL戦を決勝戦含む計5試合、YBCルヴァンカップを計4試合について、高品質な芝環境を維持しつつ、観客の安全に配慮しながら開催した。 ・キャンピングカーイベントや、遊具の商談会、ヒーローショーイベントなど、今まで開催してこなかった新たなイベントを多数開催し、公園全体の盛り上げに貢献した。 ・JV各構成団体が連携して実施したクリスマスイベント、桜のライトアップ、浦和レッズによる夏祭りやオータムフェスタなど、にぎわい創出のための事業を実施した。
	安全性の確保	A	・事業計画どおり適切な項目、回数の点検や保守を実施した。 ・大規模試合では主催者と連携し、サポーター同士の衝突が発生しないよう、何重もの柵を設置した上で警備員を配置するなど、利用者の安全性を確保した。
	防災等適切な管理の履行	A	・大規模試合の主催者、消防署等の協力を得ながら訓練を実施した。
指定管理業務を行う経営基盤	収支の適正な管理	A	・収支記録及び収支を管理している預金口座により明確に管理している。
	事業計画との整合性	A	・会計区分別に適切な会計処理を行っている。 ・施設賠償責任保険に加入した。
その他	個人情報の適切な管理	A	・(一財)日本情報経済社会推進協会が認定するプライバシーマークを取得更新し、管理マニュアルに沿って適切に管理した。
	県内中小企業及び環境への配慮	A	・専門技術を要する業務以外、県内中小企業に依頼した。 ・除草植栽業を障害者就労支援施設を組織する団体に委託した。 ・廃棄物削減のため、試合時の紙コップのリサイクル事業を実施している。
総合評価		A	事業計画に沿った施設の運営管理及び適切な会計処理により利用者サービスなどの指定管理業務を着実に実施した。

特記事項	特に評価すべき点	・埼玉スタジアム周辺住民の年齢層調査に基づく営業用資料を作成し、営業を精力的に行った結果、新たなイベントを多数開催することができ、公園の賑わい創出やPRにつながった。
	次年度に向けて改善が望まれる点	・大規模試合における入場者数増につながる事業を積極的に実施する。